

城陽市障がい者自立支援協議会

第8回 聴覚言語障がい支援部会報告書

報告者 部会長 聴覚障害者生活支援センター は一もにい 山崎 伸治

標記について下記のとおり報告します。

日 時	平成 24 (2012) 年 6 月 29 日 午前 10 時～12 時
場 所	城陽市役所 第 4 会議室
出 席 者	城陽市福祉課 相談支援事業所・は一もにい 手話通訳者の会・要約筆記奉仕委員会・手話サークル・要約筆記サークル 城陽ろうあ協会・城陽市難聴者協会
検討課題	6/15 『あそびのひろば』（民生児童委員協議会主催）出前講座の報告 『親子手話教室』の内容、実施計画について

【議事録】

1. 6/15 『あそびのひろば』《民生児童委員協議会（以下『民協』）主催行事》

聴覚言語障がい支援部会から 8 名の委員が保育園へ訪問。

通常の専門部会は、会議室で課題の協議が中心だが「出前講座」と言う形式で、今回初めて外出して啓発に取り組んだ。

対象者は入園前の幼児とその親御さんで、一緒に「手あそび」や「手話歌」の体験を通じ、楽しみながら自然に「身振り」や「手話」にふれ「聴覚障がい」を知ってもらう機会となった。

委員からは出前講座に対し積極的な意見が多く、機会があれば今後も取り組むことを確認した。
(参加した委員の感想)

- ・子どももお母さんたちも目がきらきらと輝いていて良かった。
- ・お母さんたちの笑顔で子どもたちも笑顔になっていた。
- ・お面や折り紙などを持参して、始まる前から子どもたちの興味が引き出せた。
- ・民協さんの人形劇と手話歌とつながりがあって良かった。
- ・今後は簡単な手話の挨拶や単語も取り入れて、これからも続けて行きたい。

2. 『親子手話教室』の内容・実施計画について

日 程…7/25・8/1・8/8（水曜日） 午前 10 時 00 分～11 時 30 分

定 員…10 組の親子

場 所…城陽市 福祉センター・ホール

内 容 (案)

- ・聞こえないということを理解してもらえよう問題を作ってクイズ形式にする。
- ・福祉機器 (例・パトライト) の紹介。
- ・絵カードを使って親子対抗のゼスチャーゲームをする。
- ・手話歌は参加する子どもの年齢を考えて2曲用意し、自宅でも練習できるように親子で同じ曲を練習し、発表してもらおう。
- ・オリンピックの年なので、スポーツ・五輪の色・国名などの手話を取り入れる。
- ・最終日には親は寸劇、子どもはジェスチャーなど表現してもらおう。

7月中に上記内容 (案) の詳細、具体化を図る。

7月1日の広報掲載後に、参加者の年齢や様子がわかれば、興味のあるテーマを取り入れる。

3. 支援マップの作成に向けて

今回は親子手話教室の内容検討に時間を要したので、次回の専門部会に持ち越し。